# 景観配慮協議申出書

					令和 5 年 12 月 27 日						
İ	(	宛先)	鎌	倉	市長						
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>=</b>					
			_		住 所 鎌倉市岩瀬一丁目 20 番 25						
<b>金</b>	兼倉	市衫	妍		届出者 氏 名 東邦精機株式会社 代表取締役社長 柳沢 秀	法					
和	-5.	12, 2	.7 爱	(村)	電 話 046 ( 743 ) 2111 住 所 神奈川県横浜市西区戸部本町 36 番	3					
É	<u> </u>	5-32)		ノ	代理人 氏名 株式会社紅梅組 一級建築士事務所 岩崎 勝						
	$\vdash$	1608			電 話 045 ( 322 ) 6100						
					<ul><li>( 法人その他の団体にあっては、その主たる事務所の 所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。</li></ul>						
			おり申								
	土地の	也 利 	用類	型称	住商複合地						
	景	観	地	区	□内( ) ■外						
	設	住	-	所	神奈川県横浜市西区戸部本町36番3						
	者	氏		名	株式会社紅梅組 一級建築士事 務所 岩崎 勝彦 電話 045 ( 322 ) 6100						
	行為	地:	名 地	番	鎌倉市岩瀬一丁目461番5外15筆						
	為の場	用:	途 地	域	工業地域 防火地域 □ 防火 □ 準防火 ■ 指定なし						
	所	そ	の	他	□ 風致地区 □ 歴史的風土保存区域 ■ その他(第3種高度地区 )						
	行 為 建 築 物 ■ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 移転 の ■ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一										
	種類	開		発	□ 土地の区画の変更 ■ 土地の形質の変更						
	特	定	地	区	□ 内(□ 由比ガ浜 □ 由比ガ浜中央 □ 鎌倉芸術館周辺地区) ■	外					
	行;	為の	)期	間	着手予定 令和6年3月1日 完了予定 令和6年11月30日	_					

				(32)							_
	用	途	工場	•	-						
	最高の	高 さ		10. 2m	階数		地上 2	: 階	地	₹ 0 階	
建	構	造	鉄骨造								
築.	敷 地 面	—- 積	1, 229. 08 m²					_			
物	建築面	積	842. 7	72 m²	届出以外 の部分			0 m²	合計	842. 72 m	2 1
の	延べ面	積	1, 292. 6	60 m²	届出以外 の部分			0m²	合計1	, 292. 60 m	²
概	屋上に設置する設備の種類及		□ 高架水槽		m		□ その	つ他		m	
要	色彩の変更と その〕	部分面積						面積	i	m²	
	仕 上 材	屋 根	ガルバリウム鋼板	折板	- 色	彩	屋 根	マットク 2. 3B	`レー G5. 3/ <u>0</u> .	4	
	11. 1. 1/4	外壁	金属製サンドイッ パネル	がが一		杉	外壁	サント*; 5GY8,			
開発	開発区域の	面積	1, 229. 08 m²								
	行為の	目的	分割 ( その他(		区画)	(揖	小区画	面積		m²) )	
概要	行為の「	为 容	切土 ( 9. その他 (	. 53 m³)	盛土	(	211. 96	m³)		).	

- (注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。 (例:日本瓦、波型スレート、小口タイル等)
  - 2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。
  - 3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲 げる図書を添付してください。

### 景観配慮に関する見解書

#### 1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴(景観的特性、景観資源等)をつかみ、記入する。

着	Ħ	d E	点	計画地周辺の現況等記入欄
地	域的	<b>特</b>	徴	前面道路の幹線道路は、車利用を見込んだ低中層の商業施設と住 宅が混在している。
ま	ち並み	の連絡	売性	計画道路拡幅により、整備が進んでいる。
周辺	□建物 ⊄	デザ	イン	規模の大きな商業建築物は、グレー、ホワイト、ベージュ。戸建て住宅は、 ホワイト、ブラウンのアースカラーで落ち着いた色調。
眺	 望	景	観	幹線道路には、商業建築物と共同住宅、戸建て住宅が混在して、緑 地や駐車場が混在する景観である。
景	観	資	源	特になし。

#### 2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を 行い、配慮した事項を記入する。

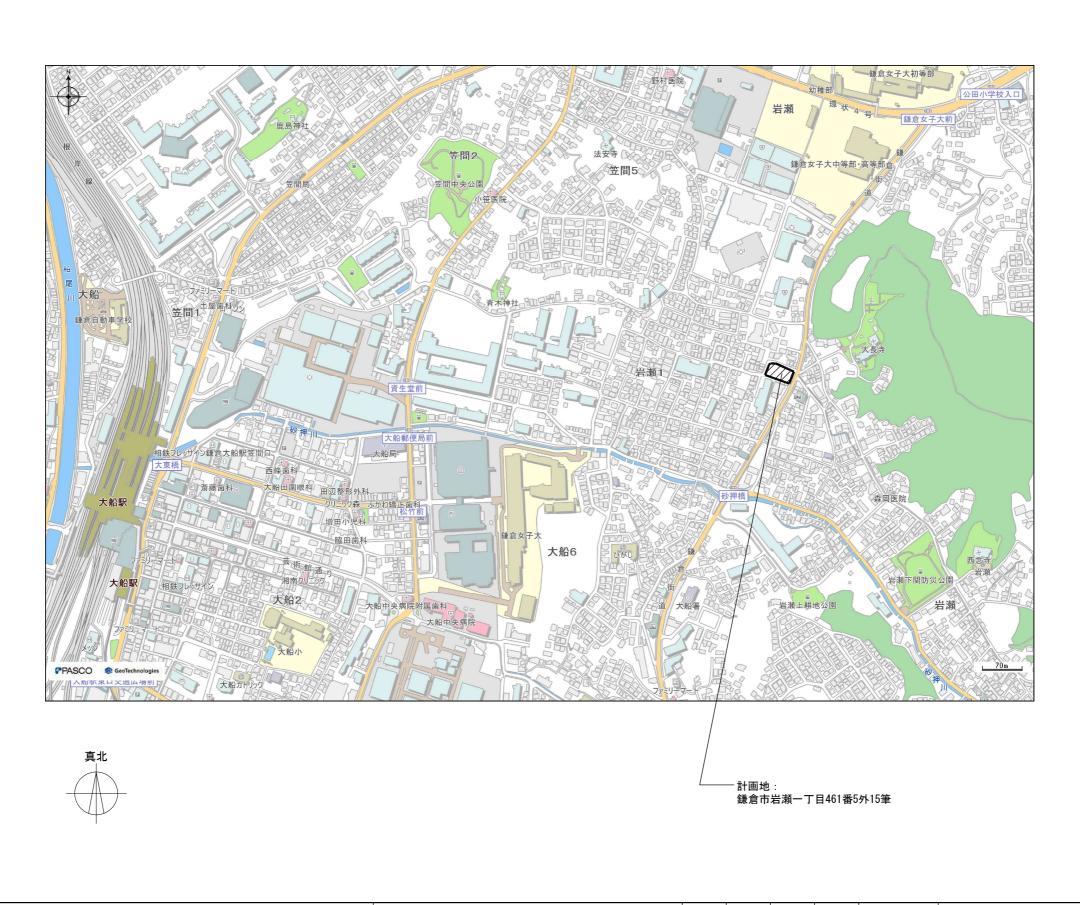
_ , ,	11・、 出心したするとにが、か。								
項			目	自己	配慮事項記入欄				
7.				評価					
配			置	0	計画道路拡幅線により、東側道路より離隔を 住宅地側に配慮して、建物を極力、南側に寄せた。				
形	態	意	匠	0	圧迫感を抑えた建物ボリュームとした。 周辺の住宅地に配慮し、北側、西側の開口部を抑えた。				
色			彩	0	建築物の屋根と外壁は、周辺建物に合わせ、落ち着いた色調と し、隣接する本社建物とも調和する色彩とした。				
建	築	設	備	0	室外機、キュービクル等を、周辺から見えにくい位置に配置した。				
外	構	緑	化	0	北側と西側の沿道緑化により連続性のある植栽計画とした。				

#### 3. 開発行為

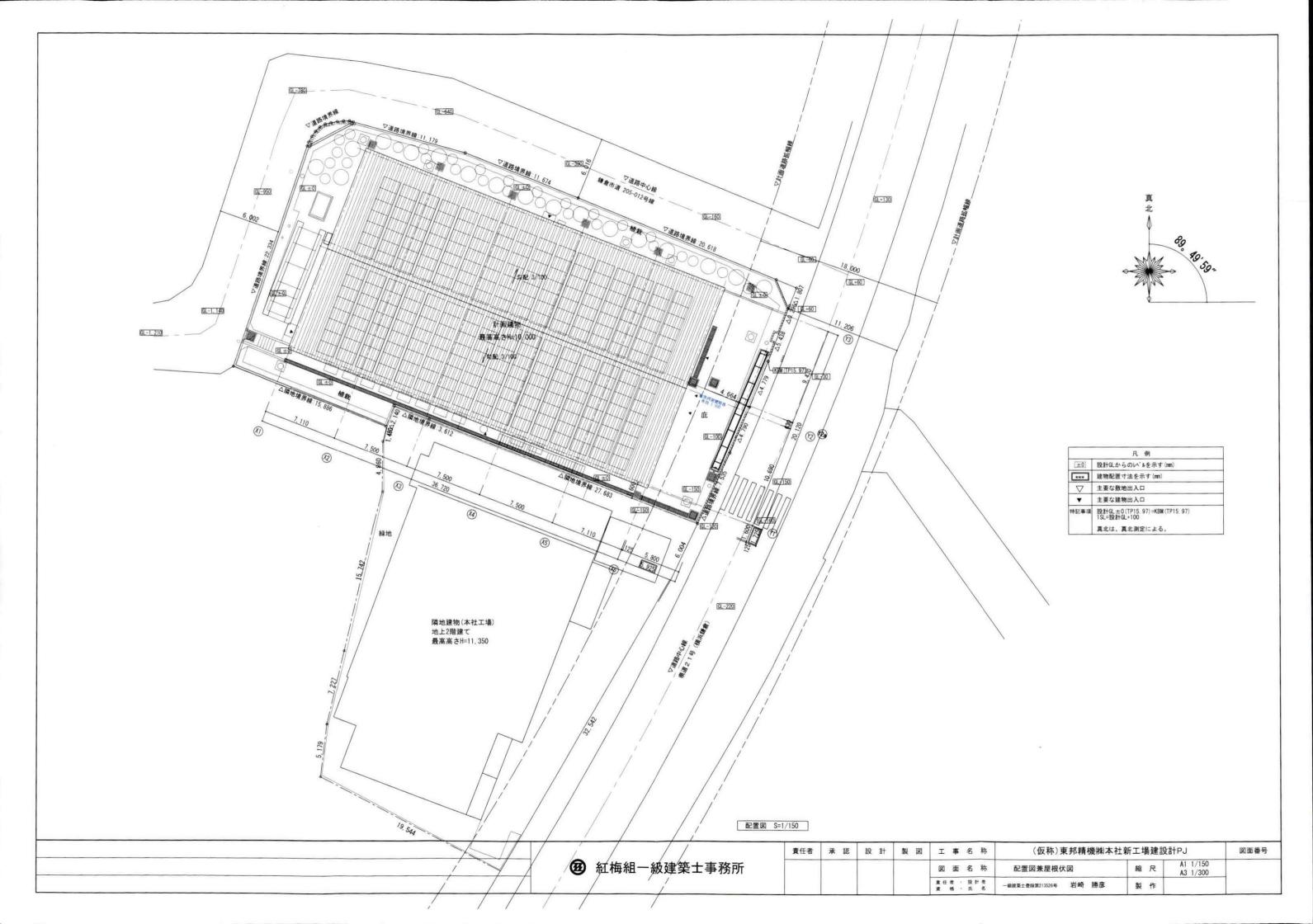
1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を 行い、配慮した事項を記入する。

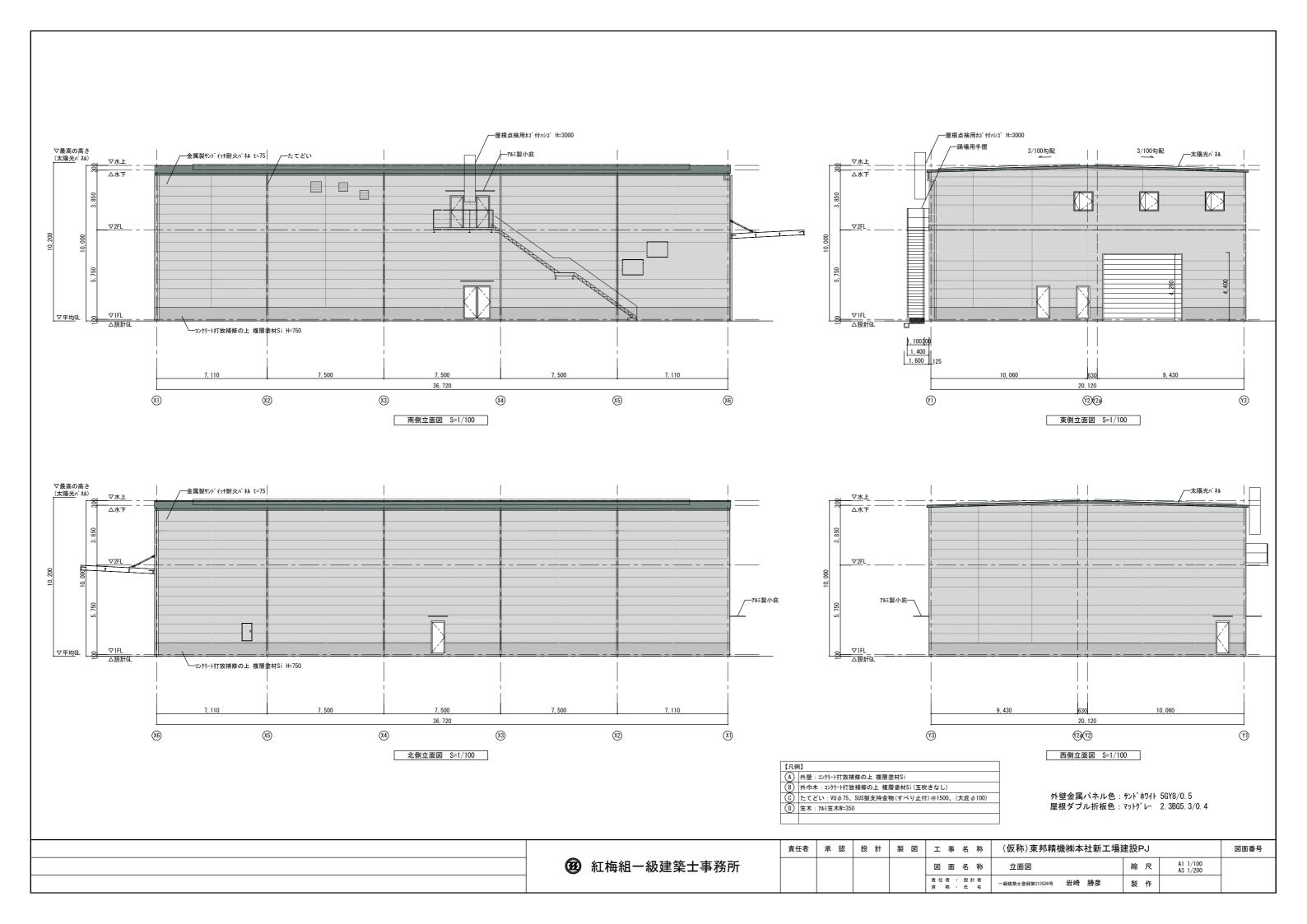
項	目	自己評価	配慮事項記入欄
造	成	0	周辺への辺影響を配慮して雨水排水計画を実施した。
擁	壁	0	幹線道路、周辺道路の見通しを配慮して隅切りを実施した。
敷き際・	緑化	0	道路に面して常緑樹を配し、景観・風通しに配慮した。

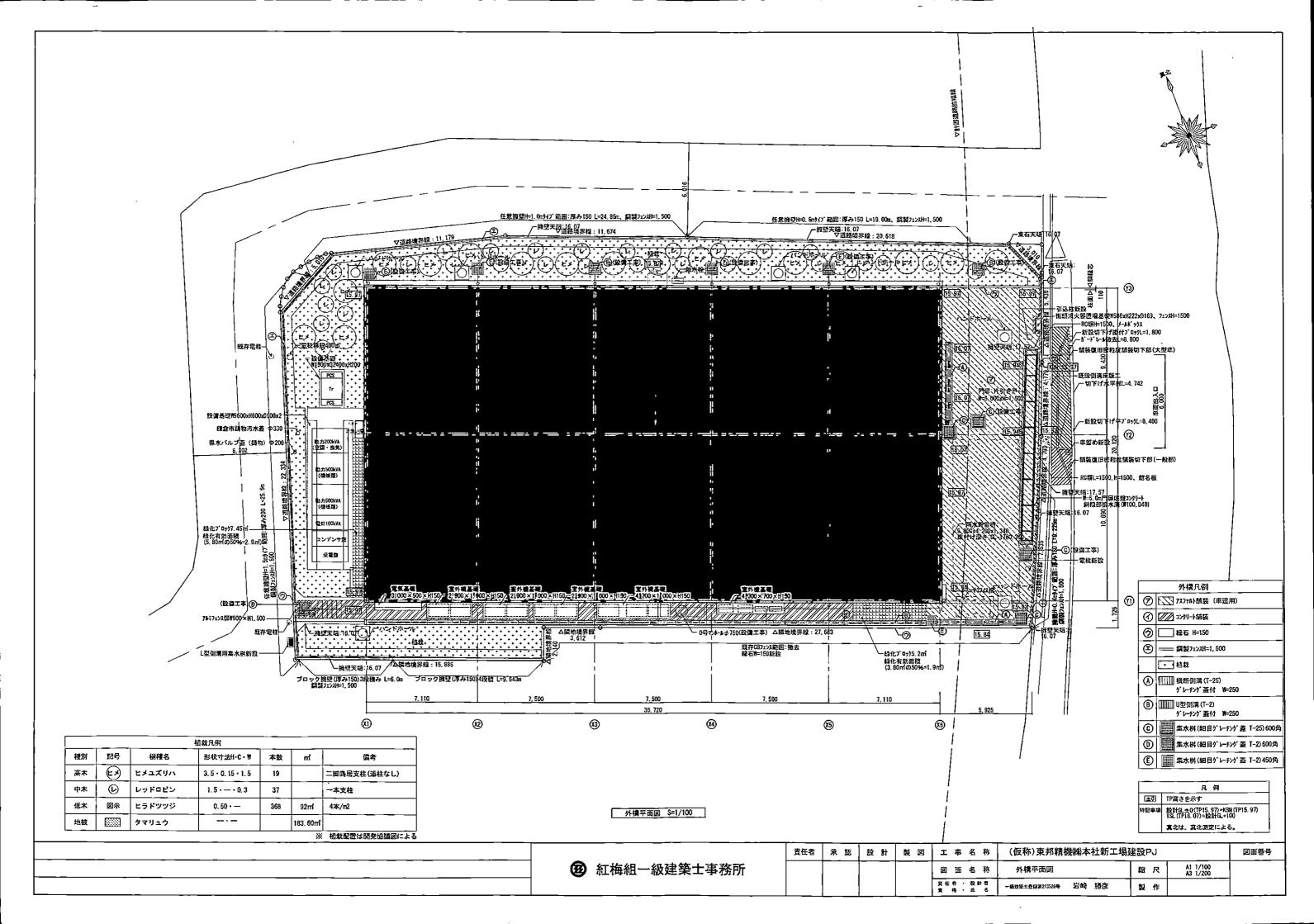
自己評価 ◎ :十分配慮した ○ :配慮した △ :部分的に配慮した × :配慮できなかった



**2** 紅梅組一級建築士事務所







## (5) 現況写真-1



東南側



東側道路より

## (5) 現況写真-2



西側前面道路より



北方向全体

